

わたし す がっこう す
私が好き、あなたが好き、学校が好き、
 このまちが好き

がっこう かてい ちいき きょうりょく あ きょういくりょく あいじょう だ あ
 学校・家庭・地域が協力し合い、教育力や愛情を出し合って、
 こ どもたちを育みましょう。子どもたちの育ちを見守る人た
 ちがつながりあうことがとても大事で、それができるのが
 じんけん
 「人権のまちづくり」です。



わたし じんけん いちいん
私たちは「人権のまちづくり」の一員です

こ どもたちの豊かな学びと育ちをめざして、地域にあるさま
 ざまな問題を一緒に考え、共に学び合いましょう。そして、
 だれ あんしん く ひとり えがお じんけん
 誰もが安心して暮らせる、一人ひとりの笑顔があふれる人権
 のまちづくりをすすめていきましょう。



久留米市内中学2年生の作品
 <2020年度人権作品集より>



久留米市内小学6年生の作品
 <2020年度人権作品集より>

まな
学ぶことで、つながる

がっこう かてい ちいき まな おも ねが じぶん ことば
学校・家庭・地域、それぞれの学びとともに、思いや願いを自分の言葉にして
 ひょうげん ひと ひと
表現することによって、人と人がつながります。

びょう がくしゅう
ハンセン病を学習して

く る め し ないしやうがく ねんせい さくぶん
 久留米市内小学5年生の作文
 <2019年度人権作品集より>

「どんな病気なんだろう。」わたしは、ハンセン病の名前をみて思いました。
 みなさんは、ハンセン病のことを知っていますか。ハンセン病とは、治る病気です。感染力
 が弱く、「プロミン」という薬で治すことができます。
 わたしは、4月に、ハンセン病のことで学びました。まず、ハンセン病患者さんが受
 けた差別について調べました。どんな差別があったかという、熊本県がハンセン病回復者の
 人たちを温泉ホテルに招待する計画をしたところ、ホテルが「ハンセン病回復者が泊ると、
 他の客が迷惑する。」と言って、宿泊を拒否したという差別です。さらに、その後、その差
 別に対してホテル側にこうざしたハンセン病回復者に、一般の人達から非難の電話や手紙、メー
 ルなどがたくさんきました。その中には、「お前たちは温泉に入るよりも、早く骨つぼに入れ。」
 とかかれたものもあったそうです。

しかし、たくさんの手紙の中たった一人「私はハンセン病のことを正しく知りませんでした。
 私の考えが、まちがっていました。」という謝りの手紙をくれた方がいたそうです。わたしは、
 その事件のことを知って、みんな同じ人間なのに、宿泊を拒否されるのは、おかしいと思いま
 した。また、謝りの手紙をくれた方は、自分のまちがいをみとめて謝ったのがいいと思いま
 した。(中略)

9月に実際に国立ハンセン病療養所菊池恵楓園に行きました。資料館で本物の差別の手紙
 をみました。手紙には、名前がほとんどのっていないくて、わたしは、とてもひきょうだと思いま
 した。コンクリートの壁は、手をのばしてもとどかないくらいの高さがあり、その周りに木が
 たくさん植えられていて、少しも外が見えませんでした。へいの中にとじこめられているように
 感じました。

実際に現地に行き、患者さんたちが家に帰りたがっていたのがよく分かりました。ハン
 セン病のことを正しく知って、差別をなくすことができるといいです。そのために、へい水フェ
 スタでこのことを発表し、多くの人にハンセン病のことを知ってもらおうと思います。

